かりできなからNPO法人ももの会 通信 第60 号 (2016年11月1日発行)

(2016年11月1日発行)









共生の街「シェア金沢」を訪ねて

「シェア金沢」は、2013年にオー プン以来、毎年20万人の見学者が あり、日本の首相や外国の要人も視 察に来るという、今注目の施設です。

子供から学生、高齢者が世代や 障害の有り無しを超えて、ともに暮 らす街として、マスコミで紹介されま した。アメリカにはすでに 2000 か 所に出来ていて、日本では「シェア 金沢」がさきがけとのことです。

今年9月、帰省の機会に、その 憧れの街を北陸金沢に尋ねること が出来ました。金沢郊外の山裾に 開かれた1万1千坪の専有地にひさ しのある日本家屋が立ち並び、街と いうより "集落" の佇まいです。 その 集落の中に、サービス付き高齢者 住宅(介護保険適用)32戸、学生 向け住宅8戸、障害を持つ子供た ちの入所施設4棟、放課後自然教 室(学童保育)、ギャラリー、レストラン、

高齢者サービスセンター、ショップ、 アルパカ牧場、農園などがあります。

天然温泉もあり温泉好きな私は、 3日間毎日温泉に浸かったりしなが ら、近隣の住人や障害者の人とお話 をすることが出来ました。この温泉は 「シェア金沢」の住人と、隣接する 町会の人は毎日無料で、まさに老若 男女、裸の付き合いの場所となって いました。

日用品などを売るショップの運営 は高齢者住宅の住民も参加し、店 にある大きなテーブルにはおしゃべり をしている人たちがいて、私も仲間 に加えていただきました。東京都内 からの移住者も多いそうですが「こ こへ来てから新しい趣味や友達が出 来て元気になった」「適度の距離感 と繋がりがあり暮らしやすい」「いろ んな人が、ごちゃまぜに暮らしている からこそ自分が役に立つことがあり、

NPO 法人ももの会 理事長 大井妙子

張り合いがある などの言葉が聞け ました。また、20代の身体に障害 を持つ女性が「全国のどこにでもこ んな街があれば、あの相模原で起 きた哀しい事件はなくなる。そしてス トレッチャーに乗っていても、日本中 どこにでも行けるようになればいい。 いっぱい旅行がしてみたい」と話して くれました。

その言葉から2、3日通ってみて 「共生すること」のダイナミックな発 想とその実現を目の当たりにして、現 在の縦割り行政が持つ課題や限界 を実感しました。この「シェア金沢」 のようにごちゃまぜに暮らすことの中 に、これからの可能性を見出せそう です。夕方近くになると紅葉の始まっ た山裾から近隣の学童や「シェア金 沢」に住んでいる障害のある子供た ちが学生と一緒に遊んでいる明るい 声が聞こえてきます。

祝!敬老 【2016年9月12日~17日】

今年も皆様のご長寿をお祝いして 敬老会を催しました。お昼には調理 職員が腕によりをかけて作った見た目 も鮮やかな「松花堂弁当」をご堪能 いただき、午後は地域のボランティ の方々による日替わりの演奏会をお 楽しみいただきました。

今年初登場は、フルートアンサンブル「アルファ」の皆さん。ピッコロ、通常のフルート、アルトフルート、バスフルート、コントラバスフルートなど

特殊管を含むフルート属だけのアン サンブルです。日頃、見たことも聴い たこともない楽器の音色を楽しむこ とができました。(事務職員 宮浩子)



初めて登場! フルートアン サンブル 「 ア ルファ」



桃三ふれあいの家の最高齢 102 歳の三村さんによる乾杯のご挨拶!

懐かしい桃三、ゆかりの人々がいらっしゃいました!

★ 10 年越しの約束!

8月のお盆の頃、桃井第三小学校の元校長の宮島盛隆先生とご友人の馬場喜久雄先生が、来訪してくださいました。お二人は音楽がご趣味。10年前の「今度ふれあいの家に歌いに来てください」とのお願いを忘れずに、その歌声を披露してくださったのです。先生方の歌声はふれあいの家へのエールに聞こえました。(介護職員鈴木美穂)



リコーダーと ピアノのアン サンブル

★ **喜鳥君登場!!!**

四角い座布団に扇子を持ち、ひ いおばあちゃんの誂えてくれた絽の 着物を着た中学生1年生。8月の 猛暑の中、桃井第三小学校卒業生 でもあるアマチュア落語家、小山喜 八君が来訪してくれました。ご家族 の影響で落語に興味を持ったという 喜八君、この日は「牛ほめ」を聞か せてくれました。小学校の担任だっ た浦野先生も応援に駆けつけて下さ いました。一緒に参加して頂いたア マチュア落語家さんも絶賛。1人で 何役もこなす彼の姿に利用者の皆 様も笑顔で聞いてらっしゃいました。 又、次のお噺が聞けるのを楽しみに しています。(介護職員 笹沼和子)



新しい職員の紹介



大髙 留美(看護職員)

年明けの1月4日から勤務しています看護師の大髙留美です。おもに月曜日に勤務しています。趣味は多くてコーラスやピアノ、フルートなどの音楽、英語、読書、お菓子作り、体のためにヨガも始めました。子供からお年寄りまで、人と関わることが大好きで、桃三ふれあいの家でもたくさんの利用者さんのお話を伺えて楽しく仕事をさせていただいています。こんな私ですがよろしくお願いします。



岡田 直美(看護職員)

はじめまして。7月から機能訓練指導員の看護師としてお世話になっております。西荻北に夫、二人の娘、私の母と五人で暮らしています。普段は育児に追われていますが、「桃三ふれあいの家」での仕事が育児以外に頑張りたいと思える貴重な時間となっています。どうぞご指導を宜しくお願い致します。

たくさんの実習生・研修生・ボランティア体験を迎えて! 【2016.8 月~10月】 施設長 梅谷則子

■ 大学生の介護体験

今年も、東京都社会福祉協議会 より委託を受け、教員免許取得希望 者の介護体験生の受け入れを8月~ 10月にかけ実施しました。教員を志 す平成生まれの大学生や大学院生 15 名は、桃三ふれあいの家での様々 な実習を体験した5日間でした。

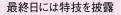
初日が終わり、レポートを読むと「何 故、お茶をお盆で出すのですか?」と いう質問を受け、明確な答は即答で きず、頭を抱えてしまいました。私た ちの世代では当たり前と思っている日 常動作が学生には大きな疑問だった のです。彼らは、人への接し方につい て、学校、家庭、友達からは得られ ないもの、例えば「挨拶をする。心 を込めた1杯のお茶を出すこと | そし て、普段接することの少ないお年寄 りを通して「様々な人の生き方、歴 史、人を援助するうえで大切にすべき こと」などを学んだはずです。

車いす体験や送迎車の添乗員な どを体験し、5日間の実習も終わる ころになると自分たちよりはるかに年 齢を重ねた利用者さんから大きく太く 数多くのことを学び、生き生きと接す る姿が見られました。「知らないこと を知る 桃三ふれあいの家での体験 が、未来あるこどもたちの教育に活 かされ、思いやりのある素敵な先生 になってほしいと思いました。

(介護職員 岡田みちる)

<実習生の感想>

- ●利用者の皆さんから暖かい言 葉を頂けたのが、嬉しかった
- ●利用者さんと職員、そしてボラン ティアの方々との一体感を感じた
- ●いつかは、高齢者に必ずなる と考えれば、世代を通して支え合 う事は自然であり、他人事ではな いように思う
- ●車椅子体験を通して、介護さ れる側は面倒をかけているという 負い目がある為に、それ以上の 要望は遠慮して口に出さないとい うことはなるほどなと納得した





車椅子体験

■ 先生の介護体験

隣接する桃井第三小学校の図工 教諭辰巳麻世先生が教員 10 年目 の研修で桃三ふれあいの家にいらっ しゃいました。毎年子どもたちとの交 流はありますが、実際に介護の現場 を体験してみるとずいぶん違った感想 を持たれたようです。

<辰巳麻世先生の感想>

人生をよりよく生きるために人は 支え合い、学び合い、敬う気持 ちを大切にしたいと感じた3日間 の研修でした。利用者さん方の 優しさや明るさ、そして向上心に あふれるスタッフの温かい心。「桃 三ふれあいの家 | のすてきな雰 囲気や素晴らしさを感じました。 ここにいると誰もが笑顔になり、 心から優しくなれます。充実した 研修をさせていただきありがとう ございました。



夏祭りで、お手伝い

嚥下体操をリード

「楽描 (らくがき) スケッチ 新しいプログラム

講師の渡部忍先生は88歳。こ の日の為に打ち合わせや他のプログ ラムを見学され、利用者さんの様子 やどんなものを好まれるのかをとても 丁寧に考えてくださいました。

その日の題材は「ペンギン」で、7 人が参加されました。「どんな風に描 けばいいですか? | 等の質問に「自

由に好きな様に描いてください」と、 とても優しく伝えてくれました。渡部 先生が一人一人にアドバイスをしてく ださり、細いペンギンや少しぽっちゃ りのペンギンなど個性豊かな7匹の ペンギンが完成しました。

(介護職員 岡崎治美)



おおぜい

「地域の力」点から面へ

9月13日に西荻地域区民セン ターで永田久美子さんのお話「認知 症になっても自分らしく生きられる」 とそのあとに参加者の話し合いがあ りました。

主催は西荻北・善福寺サロン 連絡会 (ケア 24 善福寺を中心に NPO や支え合いの活動をしている グループや個人で構成。ももの会 も一員です)。講師の永田さんは高 齢者福祉、特に認知症の研究・実 践の先駆者であり、善福寺の住民 です。誰もが抱える"認知症になっ たらという不安"について、「困っ た存在として、家族だけで抱えがん ばっていても悪化するばかり、周り からの気づきや支えがあることで暮 らし続けられるご近所作りが求めら れている、と実践例を交えてのお話 でした。

2部の話し合いでは、全体として 「認知症を前向きに受け止め、でき ることから始めてみよう と参加者 がそれぞれの一歩を踏み出したよう に感じました。

かがやき亭も地域のみなさんの 寄り処の一つになれるように、力を 入れていきます。(店長 福田恭子)



講師・永田久美子さん

秋は文化・芸術に親しむチャンス♪ どなたでも・いつでも

かがやき亭午後のお楽しみタイム。詳しくは6面を参照下さい。

【 囲 碁 】 初心者大歓迎! リーグ戦も始まりました。

【 絵 手 紙 】 10 月下旬に近くの喫茶店でグループ展開催。

【うたの会】 素敵なピアノ伴奏で若々しい歌声がまちに響きます。

【 手 芸 】 編み物に夢中な人が増えています。

【書道】好きなお手本を書いた後の清々しさ。

【健康麻雀】 初心者からベテランまで和気あいあい。



囲碁のリーグ戦の様子

レポート 川瀬由紀子さんピアノコンサート「心の風景」

10月2日(日) かがやき亭にて、 6回目のピアノソロコンサートを開 催しました。川瀬さんは開店当初か らうたの時間のボランティア講師と して、ピアノ伴奏をしていただいて います。

クラシック、ジャズ他何にでも 挑戦のマルチピアニストとして活躍 中。宇宙からのエネルギーをピアノ を通して浴びている心地よさに堪能 した秋の午後でした。 (店長 福田恭子)



集い Rainbow 11月の予定

● みんなの杉並・むかし語り/11月11日(金) 18時30分

「東京女子大学と杉並」東京女子大の存在と地域との関わりを語り合います。 *参加費無料、飲み物 500 円/杯、食事は 1000 円の弁当のみ

● 映画を見る会/11月17日(木) 18時30分

「渚にて」主演:グレゴリー・ペッグ、エバ・ガードナー *参加費無料、お食事は特製サンドイッチ+飲み物 1500 円

●ワイン会/11月25日(金) 18時30分

*参加費 3500円



<ご予約、お問合せ> 木附 玲子 (090-6263-2330)

西荻・寺子屋食堂 (地域のおじちゃんおばちゃんクラブ代表 能登山明美)

かがやき亭を子ども食堂で利用 させていただいてから、3 年目にな ります。

初めは、夏休みに親たちが忙しく帰りが遅いため、寂しく一人で食事をしている子どもや「たまにはみんなで一緒にご飯を食べよう!」と地域のお節介さんがこの指とまれ!と始めました。夏休みの毎週開催は大変でしたが、2年目の夏からスクールソーシャルワーカーのみなさんにお願いしたり、聞きつけた近隣の子どもたちが少しずつ集まってきました。来た子どもたちは、家では

できないちょっとした調理を楽しみ、みんなでいただきますをして食べるご飯に大満足!食後のお茶でマッタリとした時間は帰ることも忘れて、楽しくおしゃべりしていました。「もっと平日もやって欲しい!」そんな願いを実現しよう!と今年2016年7月から「西荻・寺子屋食堂」が始まりました。

フライパンは お手の物です



真剣にやって いますので、

★ 西荻・寺子屋食堂とは

寺子屋とは、地域のたくさんの力 持ちのお年寄りの力をお借りして、子 どもたちに「食文化」を伝えたい、ま た、勉強が解らないという子どもに 教えたいと「この指とまれ」と集まっ てくださった近所のおじちゃん、おば ちゃんが「これこそ江戸の町にもあっ た寺子屋ではないか?」と名付けまし た。前半を寺子屋タイム、後半をお 食事タイムと分け、毎月第4土曜日夕 方の5時から開催しています。

西荻・寺子屋食堂のメンバーは現 在、正会員5名賛助会員6名。「前か らこのような場所を求めていた」「子どもたちのために何かしたい」という想いを持った方々が集まりました。中には「自分の地域で子ども食堂をやるための参考に参加したい」という方もいて、まさに近所のおじちゃん、おばちゃんの気持ちがいっぱいの仲間たちが集まっています。また、最近では「夏休みの自由研究で子ども食堂を調べに」とか「ボランティア体験したい」と他区市からも高校生、中学生がやってきました。

子ども食堂=貧困問題とイメージづ

けられてしまい、なかなか集まれないということが現状の問題となっていますが、貧困という言葉が持っている複雑な現代社会の問題を深く理解してほしいという思いをもっと地域の人たちにも知っていただき、みんなで美味しく、わいわい食べる楽しみを、未来を背負っていく子どもたちに味わわせてあげたいと思います。今日も問い合わせのお電話の先から同じ想いの声が聞こえて来ています。

★「第3回西荻・寺子屋食堂」/9月24日(土)16時~ かがやき亭にて

参加者は中学生〜大学生12名。今日のメニューは「親子丼」。子ども食堂ネットワークから 食材の支援情報がありご寄付がありますが、今回は鳥取県の大江ノ自然牧場から 生みたての新鮮卵 100 個を頂き、ふっくらと美味しそうで贅沢な親子丼ができあがりました。

今後の開催予定日: 10/29、11/26、1/28、2/25、3/25 いずれも 17 時から 問合せ先: 能登山明美 090-9006-3910



おトク情報!

"すぎなみごはん"でベジチケ(野菜交換券)200円がもらえます。

すぎなみごはんは区内のヘルシーメニュー推奨店が参加する杉並保健センターの恒例イベントです。 バランスの良い食事は健康の基、かがやき亭では刺身定食など基準をクリアした食事を用意して 皆さまのご来店をお待ちしています。

期間11月7日(月)~11月20日(日)、先着100名様にベジチケをお渡しします。 近隣の八百屋さん(すぎなみごはん参加店)で200円の金券としてお使い下さい。



刺身定食(魚多さん直送)

NPO法人 ももの会

ももの会は誰もが住み慣れた場所に住み続けることができるよう、地域の住民の参加と協力の仕組みを作ることを 目的に運営をしております。一昨年より、この活動を更に進めていくために「認定NPO法人」の取得を目指し、 年間 100 名 (三千円以上) のご寄付をお願いしております。

- *認定 NPO 法人になると社会的信頼性が向上し、助成金や補助金が得やすくなります。
- *また、個人の方にもメリットが出来ました。個人の寄付は、寄付金額のおおよそ半分が税額控除されます。
 - 例えば(寄付金3万円-2000円)×0.5=1万4千円が確定申告するときに税額控除されます
- *相続財産の寄付についても、寄付した分は課税対象から除かれます。

ご協力をよろしくお願いいたします。

桃三ふれあいの家

介護保険事業所・高齢者在宅サービスセンター

〒 167-0042 杉並区西荻北 2-10-7

TEL: 03-5311-3631

FAX: 03-5311-3632

桃三ふれあいの家は、NPO法人としての特長を発揮しながら「人間としての尊厳を守 り、生きる喜びのあるデイサービス」事業をしています。

●小学校・子供園・保育園・町内会など地域との交流 ●たくさんのボランティアさ **んに支えられた多彩なプログラム** ●安全で美味しい手作り給食 ●春のお花見散 策、秋のおでかけ

ご利用者様、ひとりひとりのニーズに応えられるようにきめ細かいプログラムをご用意しております。



西荻・まちふれあい

かがやき亭

的

活

目

活

〒 167-0042 杉並区西荻北 4-4-4 三益ビル 1 F

TEL: 03-5303-5085 FAX: 03-5303-5085

●地域や家族から孤立しがちな高齢者や地域の人々が気軽に立ち寄れる場所づくりと 生きがい活動 ●心身の健康維持のための食事提供 ●要介護を予防し、暮らし続 けることができる地域の福祉ネットワークづくり

【お楽しみタイム】午後のひととき、趣味や生きがい活動を通じてお友だちづくり 囲碁/月曜日 絵手紙/火曜日 書道/第3水曜日 歌の会/木曜日

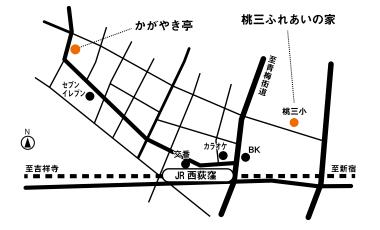
手芸/金曜日 健康麻雀/第4日曜日·土曜日(不定期)

【集いRainbow】みんなの杉並・むかし語り/第2金曜日 映画を観る会/第3水曜日 ワイン会/第4金曜日 他 【ランチと喫茶】平日(月~金曜日) 11:30~16:00

【その他】お弁当配達、スペース利用、ホールでの催し物、地域のグループや団体への貸出し、シニアサロン、 和の会(雑学教室)、ウクレレ教室

編集後記

桃三ふれあいの家に今年は大学生がたくさん実習にきました。高齢者や職員とのコミュニケーションを学 ぶことはもちろんのこと、子どもや高齢者、障害者との地域における共生を若者の視点から考えるきっか けになってくれれば嬉しいと思いました。(桃三ふれあいの家 事務 宮浩子)



発 行 人 特定非営利活動法人ももの会 大井妙子 〒 167-0042 杉並区西荻北 2-10-7 TEL: 03-5311-3631 FAX: 03-5311-3632

suginami-momo@r7.dion.ne.jp http://sugimomo.jimdo.com

集 NPO 法人ももの会 かがやきながら委員会 (第60号担当: 関口記代子、鈴木美穂、 宮浩子、梅谷則子、川野美幸)

後藤順子さん 字 題 寺尾祐一

制作協力

